

平成22年度 北陸地方整備局 第4回事業評価監視委員会 議事録（概要）

1. 日 時 平成22年12月2日（木） 13時30分～16時30分
2. 場 所 北陸地方整備局 4階 供用会議室
3. 出席者 委 員：玉井委員長、石黒委員、川邊委員、島崎委員、永山委員、
古田委員、松本委員、丸山委員、宮島委員

北陸地整：局長、副局長、次長、企画部長、建政部長、河川部長、道路
部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長他

4. 審 議

（1） 河川事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

○直轄地すべり対策事業（滝坂地区）

■意見

○特になし。

（2） 道路事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

○国道7号 新発田拡幅

○国道41号 猪谷楡原道路

○国道289号 八十里越

■意見

○特になし。

（4） 港湾事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

○ 伏木富山港 新湊地区 臨港道路整備事業

○ 金沢港 大野地区 国際物流ターミナル整備事業

○ 七尾港 大田地区 国際物流ターミナル整備事業

■意見

○七尾港については、委員会としては事業継続に賛成。但し、産業政策が不透明な位置づけの中で、1名の委員が事業継続について反対。

○今回、金沢港と七尾港で行った企業関連貨物の将来推移予測については、次回再評価時に検証することが必要。

○伏木富山港の臨港道路については、3便益外の便益や地域への貢献をどのように評価していくか考慮してもらいたい。

(5) 道路事業の事後評価

■今後の事後評価及び改善措置の必要性等について

以下の事業について審議した結果、次のとおりとなった。

○国道8号 黒埼拡幅

○国道116号 学校町交差点改良

今後の事後評価及び改善処置、計画・調査のあり方、事業評価手法
についての見直しの必要性なし。

■意見

○事後評価では、当初計画や再評価時点での予測、その後の推移、事後評価時点での実測値や結果を比較し、出来る限り多くの判断材料で事業の検証を行うことが重要。

○地域への活性化や貢献という観点で、地域の声などを反映させるような手法を事後評価の要因に追加出来ないか。